

教科名	音楽科	週時間数	1.3時間	学年	1年
使用教科書 及び 副教材等	教科書 中学生の音楽 1 (教育芸術社) 中学生の器楽 (教育芸術社) 副教材 Joyful Songs (新学社)				

学習のねらい	・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 ・多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。 ・多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。				
目指す姿	支え合う	相手の意見や演奏活動を聞き、受け入れ、認めながら、自分を表現することができる姿。 鑑賞では、発表し合い共有し、音楽の多様性を理解することができる姿。			
	高め合う	話し合い活動やパート練習などを通して、自分の考えを見直したり、他者と比較したりする中で、新たな表現方法や感受することができる姿。			
学習の進め方	【学習への取り組む姿勢】 ○毎時間、「振り返りスライド」を活用し、めあてと振り返りと、課題を記入する。 ○教科書等を使って歌唱、楽器演奏をする。 ○自分たちでパート練習を行い、正しい音程や強弱を創意工夫し表現する。 【家庭学習】 ○振り返りスライドの入力。(授業内で振り返りを書ききれなかった場合のみ。) 【端末の活用】 ○世界の様々な音楽や我が国の伝統音楽を調べる。 ○自分たちの合唱を録画して観る。 ○振り返りスライドを提出する。				
定期テスト	出題方針	授業の内容を中心に出题する。			
	範 囲 (予定)	1学期中間	実施しない		
		1学期期末	1学期のまとめ		
		2学期中間	実施しない		
		2学期期末	2学期のまとめ		
		学 年 末	1年間のまとめ		
評価方法	観点	評価の方法		評価について	
	知識・技能	美しい音・正しい音程・豊かな表情で表現力豊かに表現活動をしている。音楽を形作っている要素・生み出す特質・雰囲気を感じ取っている。 ●定期テスト、実技テスト、鑑賞スライド		・曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解することができる。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表すことができる。	
	思考・判断・表現	音楽を形作っている要素を感じ取り、楽曲の特徴に気付く。作曲者の思いや工夫されている点を、音楽を形作っている要素で説明することができ、表現の工夫に繋げようとしている。 ●定期テスト、実技テスト、鑑賞プリント		・歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏したり理解することができる。 ・授業で学んだことを生かして、自分なりの表現・判断をすることができる。	
	主体的に学習に取り組む態度	知識・技能、思考・判断・表現の観点をふまえた上で、音楽活動に意欲的に取り組み、進んで話し合いに参加し、自分の考えを発表している。提示されためあてに沿って熱心に取り組んでいる。 ●振り返りシート、授業の様子、定期テスト、実技テスト、鑑賞		・知識・技能、思考・判断・表現の観点をふまえた上で、授業を主体的・協働的に取り組むことができる。 ・自分自身の学習の見通しをもったり、振り返ることができる。	

年間授業計画書					
学期	月	単 元	学 習 内 容	時数	学習のポイント
1	4月	歌声を作ろう	・オリエンテーション ・発声練習	2	・姿勢に気をつけて、恥ずかしがらずに響きある声で歌えるようにする。
		楽典	・音楽記号	1	
	5月	歌唱	・校歌 ・We' ll Find The Way ・主人は冷たい土の中に ・浜辺の歌 他	6	・音楽の要素(旋律・リズム・ハーモニー)を感じ取りながら歌う。
	6月	鑑賞	・鑑賞曲「魔王」	2	・詩の内容を理解し、場面を想像しながら鑑賞する。
		テスト	・歌唱テスト	1	・「主人は冷たい土の中に」を工夫しながら歌う。
	7月	合唱の喜びを感じよう	合唱コンクールに向けて	3	・パートリーダーを中心とした協力的な練習の流れを確認する。
2	9月	クラスの歌声を作ろう	各クラスの合唱曲	8	・声部の役割を意識し、全体の響きに興味を持ち表現する。 ・互いの演奏を聴き合い評価し合う中で、ひとつの音楽をつくることの楽しさやすばらしさを感じ取る。
	10月				
	11月	歌唱	・赤とんぼ	2	・日本歌曲のことばや旋律の美しさを感じ取り表現できるようにする。
		鑑賞	・春	2	・詩の内容を理解し、場面を想像しながら鑑賞する。
		テスト	・歌唱テスト	1	・合唱曲を工夫しながら歌う。
	12月	楽典	・音名	2	・ト音記号とヘ音記号の音名を理解する。
		合唱	・合唱曲	3	・曲想を理解した上で、曲にあった歌い方を考えながら取り組む。
3	1月	合唱	・合唱活動	3	
		世界のうた	・エーデルワイス	2	・世界の音楽に親しみ、英語の歌詞の特徴を感じ取る。
	2月	器楽	・打楽器	3	・様々な打楽器を用いて、器楽合奏する。
		鑑賞	・日本の伝統音楽	2	・「民謡」を通して、日本の音楽を味わって鑑賞する
		鑑賞	・世界の楽器	1	・世界の音楽を鑑賞して、多様な音楽味わう。
	3月	創作	・クラッピングラブソディ	3	・手拍子での創作活動を通して演奏する。